

学会誌等(査読有)

- 1 國田祥子・中條和光(2005). 学習時の方向付け課題による再認の頻度効果の検討 基礎心理学研究, 23巻, 161-169.

大学紀要等(査読有)

- 1 國田祥子(2007). 認知課題の遂行に及ぼす漢字の使用頻度の影響:出現頻度と主観的な使用頻度の比較 広島大学大学院教育学研究科紀要 第3部(教育人間科学関連領域), 55, 287-296.

大学紀要等

- 1 國田祥子・西菜見子(2021). 読みにおける文字への注意配分の発達的变化 中国学園紀要, 20, 151-158.
- 2 國田祥子・槇尾真佐枝(2020). 保育者のやりがいは何によって支えられているのか 中国学園紀要, 19, 141-147.
- 3 小阪芙由美・國田祥子(2020). 空間性ワーキングメモリのスパンテストにおける処理効率の影響:2次元刺激と3次元刺激の比較 中国学園紀要, 19, 157-162.
- 4 國田祥子・小阪芙由美・西菜見子(2019). 保育士の離職意思と職場環境の関係 中国学園紀要, 18, 113-122.
- 5 西菜見子・國田祥子・井上亜弥(2018). 絵本の読み方で聞き手の受け取り方は変わるのか:幼児を対象に, 抑揚に注目して 中国学園紀要, 17, 165-174.
- 6 小阪芙由美・國田祥子・平松美由紀・森田健治(2018). 小学校体育における子どもの能力の差への指導:スポーツ少年団の指導者に対するインタビューをもとに 中国学園紀要, 17, 159-163.
- 7 國田祥子(2017). 褒め言葉の受け取り方:大学生と小学生の比較 中国学園紀要, 16, 151-157.
- 8 國田祥子(2016). 表示メディアが読みやすさと印象形成に及ぼす影響:iPad mini, Kindle Paperwhiteを用いて 中国学園紀要, 15, 87-93.
- 9 國田祥子(2015). 表示メディアが読みやすさと印象形成に及ぼす影響:iPadを用いて 中国学園紀要, 14, 147-151.
- 10 國田祥子・山本あゆみ(2014). 子どもの自己表現と自己抑制の関係について 中国学園紀要, 13, 131-140.
- 11 國田祥子・槇尾真佐枝(2013). 児童養護施設の子ども達への学習支援に関する研究:平成23年度の調査から 中国学園紀要, 12, 149-156.
- 12 國田祥子・岡 直樹・黒田智広(2012). 音読は文章理解に有効か 中国学園紀要, 11, 181-188.
- 13 國田祥子・中條和光(2011). 音読は注意資源の配分に有効か 中国学園紀要, 10, 109-117.

学部紀要等

- 1 國田祥子・篠崎和可子・内田一行(2021). 「気になる子ども」に対する保育者の理解と援助 中国学園大学子ども学部教職課程研究論文集, 4, 51-62.
- 2 國田祥子・西菜見子・小阪芙由美(2019). 保育教育系大学生の職業レディネス：学年および実習経験による変化 中国学園大学子ども学部教職課程研究論文集, 2(2), 211-223.
- 3 國田祥子・小阪芙由美・西菜見子(2018). 児童期における片付け行動と青年期の対人恐怖心性の関係 中国学園大学子ども学部教職課程研究論文集, 2(1), 221-230.
- 4 西菜見子・國田祥子(2017). 懐かしさ感情に関する基礎的研究：歴史的ノスタルジアと個人的ノスタルジアの比較 中国学園大学子ども学部教職課程研究論文集, 創刊号, 205-222.
- 5 小阪芙由美・國田祥子(2017). 運動学習における自己調整学習と運動イメージ能力の重要性：小学校での体育指導の方法改善へ向けての一提案 中国学園大学子ども学部教職課程研究論文集, 創刊号, 191-203.
- 6 山田恭子・堀 匡・國田祥子・中條和光(2010). 大学生の学習方略使用と達成動機, 自己効力感の関係 広島大学心理学研究, 9巻, 37-51.
- 7 國田祥子・岡 直樹・木船憲幸(2010). 認知カウンセリングによる個別学習援助：学習方略の習得に向けて 広島大学心理学研究, 9, 265-281.
- 8 國田祥子・中條和光(2010). ケータイ小説の書式が読みやすさと印象形成に及ぼす影響 広島大学心理学研究, 9, 27-35.
- 9 國田祥子・山田恭子・森田愛子・中條和光(2009). 音読と黙読が文章理解におよぼす効果の比較：読み方の指導方法改善へ向けて 広島大学心理学研究, 8, 21-32.
- 10 目久田純一・塚脇涼太・國田祥子・藤木大介・前田健一(2008). 怒りを表象する単語の情動強度に基づく分類 広島大学心理学研究, 7, 139-146.
- 11 藤木大介・中條和光・磯崎哲夫・山田恭子・國田祥子(2006). 授業観察実習に対する受講者の意識が教授行動のメタ認知的知識の変容に及ぼす影響 広島大学大学院教育学研究科紀要 第3部(教育人間科学関連領域), 54巻, 215-224.
- 12 國田祥子(2006). 頻度判断方略の心的過程に関する研究の展望 広島大学大学院教育学研究科紀要 第3部(教育人間科学関連領域), 54巻, 347-352.
- 13 藤木大介・國田祥子・中條和光・磯崎哲夫(2005). 教員志望大学生の教授行動に関するメタ認知的知識の構造：中学校理科の自主学習教材の作成課題を通じた検討 広島大学心理学研究, 4, 19-30.
- 14 中條和光・國田祥子・水町伊佐男・松見法男(2004). 受講者による授業評価を指標としたVOD教材の評価 学校教育実践学研究, 10, 71-77.
- 15 國田祥子・中條和光・神山貴弥・戸梶亜紀彦・西谷 元・庄司文由・江川朋幸(2004). 受講者の授業評価を指標とした双方向遠隔講義システムの評価 学校教育実践学研究, 10, 79-83.
- 16 國田祥子・中條和光(2004). 遠隔対話における視覚情報の有無が言語的情報伝達過程に及ぼす影響 広島大学大学院教育学研究科紀要 第3部(教育人間科学関連領域), 53, 217-224.
- 17 江川朋幸・神山貴弥・中條和光・戸梶亜紀彦・國田祥子・野崎秀正(2003). 遠隔講義システム改善のための授業評価尺度開発の試み 学校教育実践学研究, 9, 71-77.
- 18 松見法男・町 博光・松崎 寛・水町伊佐男・酒井 弘・迫田久美子・前原俊信・庄司文由・秋元志美・國田祥子(2003). 「バーチャル・ユニバーシティ」プロジェクトにおけるネットワーク利用授業に対する受講生の印象評定 広島大学大学院教育学研究科紀要 第2部(文化教育開発関連領域), 51, 217-224.

その他の論文等

- 宮谷真人・中條和光・森田愛子・樋口匡貴・國田祥子・梨和ひとみ・徳永智子・橋本 翠・高村真広・大井佐瑛(2009). 認知的ストレスが言語理解を支える脳機能におよぼす影響の解明 広島大学大学院教育学研究科共同研究プロジェクト報告書, 7, 143-158.

学術書、概説書、翻訳書、教科書等

- 1 「子どもと保護者に寄り添う「子ども家庭支援の心理学」」晃洋書房 立花直樹・津田尚子(監修) 要 正子・小山 顕・國田祥子(編)(全170ページ, 担当箇所37-45)
- 2 「心理学研究の新世紀 第1巻 認知・学習心理学」ミネルヴァ書房 宮谷真人・中條和光(編)(全579ページ, 担当箇所344-345)
- 3 「発達と教育の心理学：子どもからおとなへの発達支援のために」あいり出版 増田公男(編著)(全213ページ, 担当箇所120-127)
- 4 「心理学基礎実習マニュアル」北大路書房 宮谷真人・坂田省吾(代表編集)(全214ページ, 担当箇所120-123)

研究発表

- 1 内田一行・國田祥子(2020). ワーキングメモリ容量がイメージ能力に与える影響：視覚・空間・運動性ワーキングメモリの違い 中国四国心理学会第76回大会, 広島大学, 中国四国心理学会論文集, 53, 31.
- 2 國田祥子・小阪芙由美・西菜見子(2019). 保育士の離職意思と職場環境の関係 日本心理学会第83回大会, 立命館大学, 日本心理学会第83回大会発表論文集, 989.
- 3 西菜見子・國田祥子(2018). 読みにおける文字への注意配分の発達の变化 中国四国心理学会第74回大会, 広島国際大学, 中国四国心理学会論文集, 52, 25.
- 4 小阪芙由美・國田祥子(2018). 競技者の運動イメージ能力が運動学習に与える影響 中国四国心理学会第74回大会, 広島国際大学, 中国四国心理学会論文集, 52, 24.
- 5 國田祥子(2015). 表示メディアが読みやすさと印象形成に及ぼす影響：iPad mini, Kindle Paperwhiteを用いて 日本教育工学会第31回全国大会, 電気通信大学, 日本教育工学会第31回全国大会論文集, 605-606.
- 6 國田祥子(2014). 表示メディアが読みやすさと印象形成に及ぼす影響：iPadを用いて 日本教育工学会第30回全国大会, 岐阜大学, 日本教育工学会第30回全国大会論文集, 211-212.
- 7 山本あゆみ・國田祥子(2013). 子どもの自己表現と自己抑制の関係について 中国四国心理学会第69回大会, 山口大学, 中国四国心理学会論文集, 46, 51.
- 8 國田祥子(2013). 幼児の問題行動と自己表現力の関係 日本心理学会第77回大会, 北海道医療大学, 日本心理学会第77回大会発表論文集, 994.
- 9 國田祥子(2012). 児童養護施設の子どもの達への学習支援に関する研究：平成23年度の調査から 日本心理学会第76回大会, 専修大学, 日本心理学会第76回大会発表論文集, 1102.
- 10 國田祥子(2012). 子どもの問題行動と自己表現力の関係 日本保育学会第65回大会, 東京家政大学, 日本保育学会第65回大会発表要旨集, 904.
- 11 近藤 綾・渡辺大介・國田祥子・榎尾真佐枝(2011). オノマトペ語に対する幼児のイメージ：成人との対比から 日本保育学会第64回大会, 玉川大学, 日本保育学会第64回大会発表要旨集, 287.
- 12 渡辺大介・近藤 綾・國田祥子・榎尾真佐枝(2011). オノマトペ語に対する幼児のイメージ：4, 5, 6歳児の比較 日本保育学会第64回大会, 玉川大学, 日本保育学会第64回大会発表要旨集, 286.

- 13 國田祥子・渡辺大介・近藤 綾(2011). 未知の物体との遭遇：オノマトペと比喻を用いた分析 日本保育学会第64回大会, 玉川大学, 日本保育学会第64回大会発表要旨集, 282.
- 14 國田祥子(2010). 音読は注意資源の配分に有効か：仮名ひろいテストを使用して 日本心理学会第74回大会, 大阪大学, 日本心理学会第74回大会発表論文集, 1198.
- 15 國田祥子・岡 直樹(2010). 音読は文章理解に有効か 日本認知心理学会第8回大会, 西南学院大学, 日本認知心理学会第8回大会発表論文集, 97.
- 16 國田祥子・中條和光(2009). ケータイ小説の書式が読みやすさと印象形成に及ぼす影響 日本教育工学会第25回全国大会, 東京大学, 日本教育工学会第25回全国大会講演論文集, 727-728.
- 17 國田祥子・中條和光・山田恭子(2009). 音読と黙読が文章理解におよぼす効果の比較：読み方の指導方法改善へ向けて 日本心理学会第73回大会, 立命館大学, 日本心理学会第73回大会発表論文集, 1227.
- 18 國田祥子・小野史典(2009). 無視していたら見ていなかったのと変わらない 日本認知心理学会第7回大会, 立教大学, 日本認知心理学会第7回大会発表論文集, 135.
- 19 國田祥子・小野史典・中條和光(2007). 頻度評定に与える選択的注意の影響 日本基礎心理学会第26回大会, 上智大学, 基礎心理学研究, 26, 211.
- 20 國田祥子・藤木大介・西村裕之・中條 和光(2007). 空間的な状況モデルの構成に及ぼす文章呈示モダリティの影響 日本認知心理学会第5回大会, 京都大学, 日本認知心理学会第5回大会発表論文集, 73.
- 21 國田祥子・隅谷孝洋・稲垣知宏・長登 康・中村 純(2006). Flashを用いた教師向けWebCT操作マニュアル 平成18年度情報教育研究集会, 広島大学, 平成18年度情報教育研究集会講演論文集, 846-848.
- 22 國田祥子・隅谷孝洋・稲垣知宏・長登 康・中村 純(2006). Flashを用いた教師向けWebCT操作マニュアル 第4回日本WebCTユーザカンファレンス, 京都コンピュータ学院
- 23 國田祥子(2005). 漢字の頻度判断方略が認知時間に与える影響 日本基礎心理学会第24回大会, 立教大学, 基礎心理学研究, 24, 227-228.
- 24 國田祥子(2005). 常用漢字の主観的使用頻度と認知時間の関係 日本認知心理学会第3回大会, 金沢大学, 日本認知心理学会第3回大会発表論文集, 72.
- 25 國田祥子・中條和光(2004). 常用漢字の主観的使用頻度と認知時間の関係 日本基礎心理学会第23回大会, 新潟大学, 基礎心理学研究, 23, 246-247.
- 26 中尾 敬・武澤友広・國田 祥子・河原 純一郎(2002). 因果関係の推論は記憶を歪める：聴覚刺激を用いた再認バイアスの検討 日本基礎心理学会第21回大会, 千葉大学, 基礎心理学研究, 21, 179-180.
- 27 國田祥子・中條和光(2002). 記銘項目の主観的使用頻度が再認に与える影響 日本心理学会第66回大会, 広島大学, 日本心理学会第66回大会発表論文集, 751
- 28 國田祥子・中條和光(2001). 常用漢字の再認成績に及ぼす親密度, 出現頻度の効果 日本心理学会第65回大会, 筑波大学, 日本心理学会第65回大会発表論文集, 216
- 29 國田祥子・中條和光(2001). 漢字の再認成績に及ぼす親密度の効果 第34回知覚コロキウム, 広島大学

学位論文

- 1 國田祥子(2007). 記憶課題の遂行に及ぼす漢字の使用頻度の影響：出現頻度と主観的使用頻度の比較 広島大学大学院教育学研究科博士論文(未公刊).

- 2 國田祥子(2003). 主観的使用頻度が漢字の再認に与える影響 広島大学大学院教育学研究科修士論文(未公刊).

令和4年(2022)4月更新